

社会課題の解決に貢献するアンテナ・伝搬及び 関連システムの論文特集 論文募集案内(和文論文誌B)

Society 5.0で実現する新たな社会は、センサーとIoTを通じてあらゆる情報がビッグデータとして集積し、AIの解析結果を利用するイノベーションにより様々な社会的課題の解決を目指しています。これを実現するためには、ディープラーニングにより発展してきたメタバース、ロボティクス、自動運転技術等のデジタル技術と高度な無線通信技術の統合が不可欠です。このシステム統合に必要な無線技術であるBeyond5G/6G等の高速で低遅延な無線通信、センシングと通信の融合、無線電力伝送技術など、アンテナ・伝搬及び無線システム技術の研究開発は、未来の社会に欠かせないものとなっており、社会課題の解決に貢献するアンテナ・伝搬技術に対する期待が益々大きくなっています。

以上の状況を踏まえ、本特集(2026年11月号)では、“社会課題の解決に貢献するアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集”と題して、アンテナ・伝搬及び関連分野における最新の研究成果の論文を募集致します。和文論文誌の特集では、最新の研究成果を国内の幅広い読者層にわかりやすく、かつ迅速に情報発信できます。また、本特集は、アンテナ・伝播研究専門委員会(AP研)が企画する特集号として25周年を迎えることから、これを記念し、優れた論文に対して「AP研25周年特集号論文賞」の表彰を行う予定です(ただし、最優秀論文賞については投稿時点での年齢が39歳以下の者を対象とします)。多くの皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

1. 対象分野:

アンテナ設計・解析・測定技術、電波伝搬技術、電磁界解析技術、アクティブ/リコンフィギャラブルアンテナ、メタマテリアル、アダプティブアレー/MIMO等のアンテナ・伝搬技術、次世代移動通信向けアンテナ・伝搬技術、リモートセンシング/レーダ等のアンテナ・伝搬技術、無線電力伝送技術、人体通信及び医療用アンテナ技術、量子計算等における電磁波計測技術、その他関連する無線システム技術

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

・原則として、論文は刷り上がり8ページ、レターは同2ページを標準とします。

・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

・著者全員が非会員でも投稿は可能です。但し、非会員掲載料が適用されます。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 2026年1月8日(木) 厳守

第1回判定通知: 2026年3月9日(月)を予定

最終判定通知: 2026年6月26日(金)を予定

掲載料支払期限: 2026年7月23日(木)

発行月: 2026年11月号

(本特集の論文・レターは、最終判定が採録の場合、上記判定通知時期を待たず確定次第通知する予定です。また、採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。)

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿PDFファイル(4MBまで)ならびに編集用電子ファイル(1ファイルにつき10MBまで)をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局<wabun-b@ieice.org>に御連絡下さい。

5. 表彰

AP研企画特集号の25周年を記念し、優れた論文に対して「AP研25周年特集号論文賞」の表彰を行います(若干名)。本論文賞受賞者のうち、最も優れた論文に対して最優秀論文賞を授与します。

・最優秀論文賞 1名 賞状および賞金25万円

ただし、投稿時点での年齢が39歳以下の者を対象とします。

6. 特集編集委員会

【委員長】北直樹(東京電機大)

【編集幹事】大島一郎(電気興業)、羽賀望(豊橋技科大)

【編集委員】猪又稔(NTT)、今井哲朗(東京電機大)、

久世竜司(熊本大)、笹森崇行(北海学園大)、

佐野誠(横浜国大)、豊見本和馬(ソフトバンク)、

中林寛暁(千葉工大)、本間尚樹(岩手大)、

村上靖宜(電気通信大)、柳崇(三菱電機)

7. 連絡先

羽賀望(豊橋技科大)

TEL: 0532-44-6752

E-mail: haga.nozomi.ok@tut.jp



電子情報通信学会

通信ソサイエティ

IEICE Communications Society